1 横須賀港の沿革

横須賀港は、慶応元年(1865年)、徳川幕府の勘定奉行であった小栗上野介忠順とフランス人技師フランソワ・レオンス・ヴェルニーが、横須賀村に製鉄所(造船所)の建設を開始したのがその起源である。その後、明治17年(1884年)に横須賀鎮守府が設置されて以来、軍港として発展を遂げてきた。

終戦後、横須賀港は、昭和23年(1948年)1月1日に貿易港の指定を受けた。昭和25年(1950年)には「旧軍港円転換法」の施行によって、横須賀市は「平和産業港湾都市」として新たなあゆみを始め、昭和26年(1951年)1月19日に港湾法の規定により横須賀港が「重要港湾」に、また同年9月22日には「準特定重要港湾」(国内産業開発上特に重要な港湾)に指定され、その後昭和28年(1953年)4月1日に横須賀市が港湾管理者となった。

横須賀港は、昭和42年(1967年)9月に策定した横須賀港港湾計画に基づき横須賀市によって整備が進められ、その後一部変更、改訂を重ねたのち、平成17年(2005年)3月に改訂を行い、現在に至っている。北は追浜地区から南は野比地区まで13の地区からなり、主な地区の特色は次のとおりである。

追浜地区：本市最大の臨海工業団地が形成され、主に完成自動車の輸入・移出入、自動車部品や鉄鋼の移出入貨物が取り扱われている。
長浦・本港地区：在日米軍基地及び海上自衛隊横須賀地方総監部をはじめとする自衛隊施設が集中している。
新港地区：ソーラス条約に対応し、主に完成自動車の輸出、水産品(冷凍鮪)の輸移入貨物が取り扱われている。また、北九州を結ぶフェリーが定期運航し首都圏～九州間の交通・物流ルートとして利用されている。
平成地区：背後地には事業所、工業・商業施設、うみかぜ公園などの港湾緑地、住宅が整備されているほか、主に砂利・砂の移入貨物が取り扱われている。
浦賀地区：プレジャーボート等の係留拠点として利用されているほか、日本ではこの地区にしか現存していない貴重なレンガ造りのドライドックがある。
久里浜地区：心頭内の一部はソーラス条約に対応した冷凍鮪の輸入拠点として利用されている。また、砂利・砂や廃土砂の移出入貨物が取り扱われているほか千葉県浜金谷港を結ぶフェリーや東京諸島(伊豆諸島)を結ぶジェット船が定期運航(ジェット船は一部時期を除く)している。

2 自然状況

(1) 位置と地勢

横須賀港は、神奈川県中央部より南東へ突き出した三浦半島の東岸、北緯35度12分～35度19分、東経139度38分～139度45分の東京湾口部にあり、東は東京湾を伝聞里(11.1km)隔てて房総半島と相対し、北は横浜を経て東京に陸路55km、海路25海里(46.3km)に位置している。海岸線は多数の入江を形成し、水際近くまで水深が深い。背後は高さ50～100m前後の起伏ある丘陵に囲まれ、開口部が狭隘であることから、天然の良港となっている。港内は穏やかで、湾奥は外海に面した相模湾に比べ、台風時にあっても安全な泊地条件に恵まれ、船舶の出入に適している。

(2) 風向

年間を通して北～東北東の風で、風速10m/sの風も多くなっている。季節別では、夏季は南～南西の風が、その他の季節は北～北東の風が多くなっている。

(3) 潮流

東京湾の潮流は、潮汐の昇降によって生じ、湾奥部の流れは弱くほとんど0.5ノット(0.93km/h)以下であるが、湾口に向かうにつれて徐々に速くなり、観音埼と富津岬の中間附近では1.3～1.8ノット(2.41～3.33km/h)に達する。潮流の向きは、一般に湾奥部では上げ潮時は北～北東、下げ潮時は南～南西、湾口部では上げ潮時は北西、下げ潮時は南東となっている。

横須賀港の長浦～平成地区附近の潮流は、季節的変化はあるが微弱でほとんど0.5ノット(0.93km/h)以下である。平成地区沿岸の潮流は、沖合に比べる港岸や護岸地形の影響を受け、流向は湾岸線に沿った流れとなっている。

浦賀地区の港内への潮流は、極めて微弱でほとんど0.3ノット(0.56km/h)以下であり、港口の海堡部と外防波堤との中間海面では、上げ潮時は北北東に、下げ潮時は南南西に流れ、流速はそれぞれ約1.5ノット(2.78km/h)、約1.3ノット(2.41km/h)である。

3 横須賀港港湾計画

※港湾計画は、平成17年(2005年)3月改訂版です。

(1) 計画の方針

1．暮らしの豊かさと安心の向上　2．環境施策の充実と推進　3．物流機能の強化と再編　4．活力ある産業空間の形成を柱とし、その内容は次のとおりである。

○ 港湾における快適な環境の創出を図る親水空間の充実及び地域住民等の交流に寄与する交流空間の形成を図る。
○ 地域住民及び観光客等の利便性の向上、横須賀港の魅力向上に資する内航旅客船3頭を整備する。
○ 東京湾内で貴重となった自然環境や横須賀固有の歴史・文化を保全するとともに、海域環境の再生を図る。
○ 港湾背後企業の物流の効率化、輸送コストの削減、環境負荷の低減のため、湾口地区における複合一環輸送機能等の整備による物流機能の充実・強化を図る。
○ 大規模地震に対処するため、緊急避難及び緊急物資輸送のための耐震性の高い港湾施設を整備する。
○ 効率性、安全性、快適性の高い空間を形成するため、陸域350ha、水域5,500haからなる港湾空間を以下のように利用する。
- 長浦地区、新港地区、平成地区、久里浜地区は物流関連ゾーンとする
- 新港地区、平成地区、浦賀地区は交流拠点ゾーンとする
- 追浜地区は生産ゾーンとする
- 久里浜地区発荷周辺はエネルギー関連ゾーンとする
- 深浦地区、長浦地区、平成地区、大津地区、馬堀地区、浦賀地区は緑地レクリエーションゾーンとする
- 走水地区、鴨居地区、久里浜地区は船舶まち関連ゾーンとする
- 猿島、走水地区、鴨居地区、久里浜地区、野比地区の海域は自然環境保全ゾーンとする

(2) 取扱貨物量の目標

外貿：　300万トン
内貿：2,210万トン
　(うちフェリー1,220万トン)
合計：2,510万トン

(3) 港湾施設の規模と配置

裏面地図のとおり

馬堀海岸高潮対策護岸（馬堀地区）

平成港全景（平成地区）

4 施設の状況

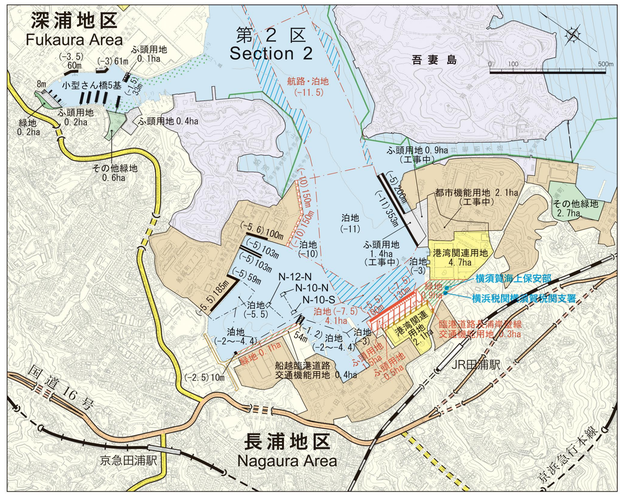
(1) 港湾区域

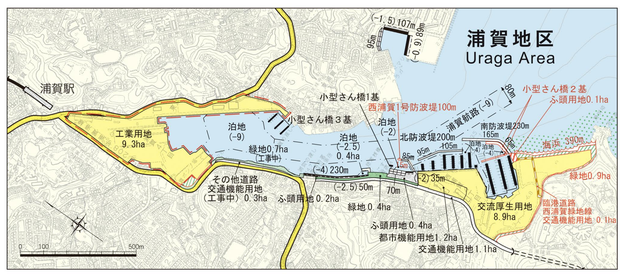
本港の港湾法に基づく港湾区域は、横須賀市夏島町地先最北端（北緯35度19分49秒、東経139度38分26秒）の地点、同地点から63度50分2,470mの地点、同地点から46度30分1,450mの地点、観音埼灯台（北緯35度15分22秒、東経139度44分43秒）から90度1,000mの地点及び同地点から海堡(第三海堡)燈標（北緯35度12分43秒、東経139度44分07秒）を見透して7,000mの地点を順次に結んだ線、同地点から290度に引いた線並びに陸岸により囲まれた海面で、その面積は55,250,000㎡であり、海岸線の延長は61,000mである。

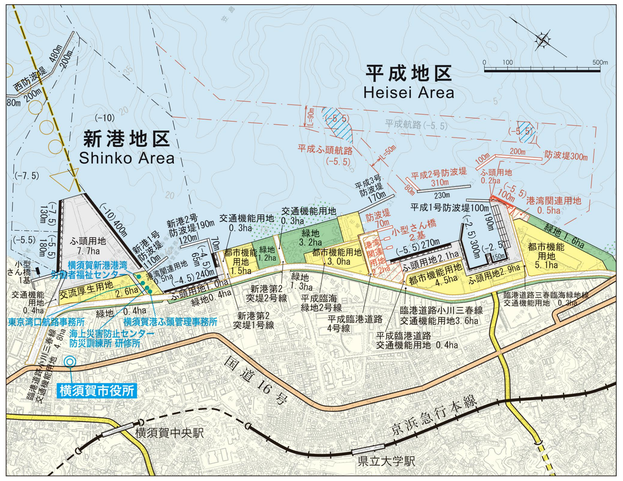
(2) 港湾区分

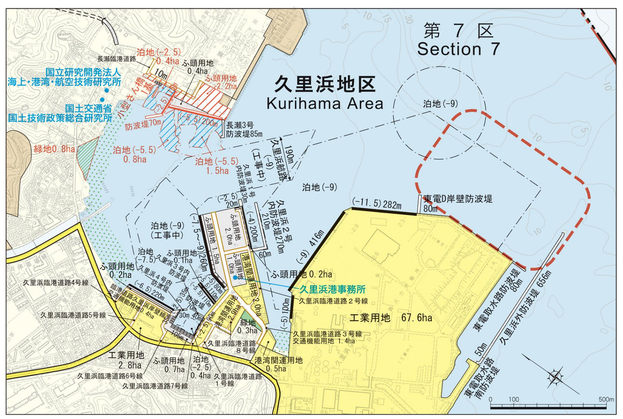
港区	面積(㎡)	港則法による境界	停泊すべき船舶
第1区	1,818,200	吾妻島から119度に引いた線（以下A線という。）観音埼灯台から240度に引いた線（以下B線という。）及び陸岸により囲まれた海面	各種船舶及び係留施設に係留する場合における危険物を積載した船舶。ただし、雑種船は、沿岸付近に限る。
第2区	1,410,400	吾妻島北端から331度に引いた線（以下C線という。）B線及び陸岸により囲まれた海面	
第3区	8,925,300	住友重機械横須賀製造所横須賀造船工場艤装岸壁南端から東北防波堤西端までに引いた線、同防波堤、横須賀港東北防波堤東灯台（北緯35度19分09秒東経139度40分31秒）から北緯35度18分32秒東経139度41分58秒の地点までに引いた線、同地点（以下D地点という。）から215度に引いた線（以下E線という。）、A線、C線、及び陸岸により囲まれた海面	各種船舶及び危険物を積載した船舶。
第4区	10,086,900	D地点から0度に引いた線(以下F線という。)第3区境界線、港界線及び陸岸により囲まれた海面	各種船舶及び危険物を積載した船舶。
第5区	21,858,400	観音埼灯台から90度に引いた線（以下G線という。）E線、F線、港界線及び陸岸により囲まれた海面	各種船舶。ただし、沿岸付近に限る。
第6区	4,560,800	千代ヶ埼灯台70度に引いた線、G線、港界線及び陸岸により囲まれた海面	各種船舶。
第7区	6,590,000	第1区から第6区までを除いた港域内海面	各種船舶及び係留施設に係留する場合における危険物を積載した船舶。ただし、総トン数300トン未満の漁船及び雑種船は、沿岸付近に限る。

5 横須賀港主要地区拡大図









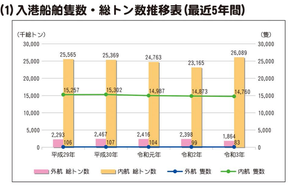
6 港湾施設使用料

施設名			使用料金		
岸壁・桟橋・物揚場	新港1号・2号岸壁		船舶の総トン数1トンごと 係留12時間まで		10.05円
			係留12時間を超える場合 超過時間12時間までごとに		6.7円
	その他	定期船	船舶の総トン数1トンごと 係留24時間までごとに		5円
		定期船以外の船舶	船舶の総トン数1トンごと 係留24時間までごとに		11円
係船浮標	総トン数1,000トン未満の船舶		係留24時間までごとに		4,920円
	総トン数1,000トン以上3,000トン未満の船舶		係留24時間までごとに		9,850円
上屋	新港	専用使用	1㎡ごとに	1月	780円
		一般使用	貨物搬入の日から15日まで 1㎡または1トンごとに	1日	17円
			貨物搬入の日から16日以後 1㎡または1トンごとに	1日	35円
荷さばき地	長浦港、浦賀港及び久里浜港(久里浜1号・長瀬)	専用使用	1㎡ごとに	1月	105円
		一般使用	貨物搬入の日から15日まで 1㎡ごとに	1日	4円
			貨物搬入の日から16日以後 1㎡ごとに	1日	7円
	新港、平成港及び久里浜港(久里浜2号・3号)	専用使用	1㎡ごとに	1月	170円
		一般使用	貨物搬入の日から15日まで 1㎡ごとに	1日	6円
			貨物搬入の日から16日以後 1㎡ごとに	1日	9円
野積場	専用使用		1㎡ごとに	1月	170円
	一般使用		貨物搬入の日から15日まで 1㎡ごとに	1日	6円
			貨物搬入の日から16日以後 1㎡ごとに	1日	9円
船舶給水	5㎥まで				3,850円
	5㎥を超える1㎥までごとに ただし、執務時間外に船舶給水を行う場合は、その料金の額に5割を加算する。				770円
船舶給電	1キロワット1時間までごとに				83円

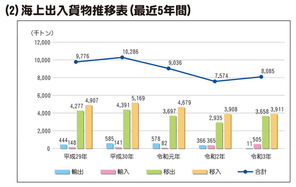
※港湾施設のご利用については、「横須賀港ふ頭管理事務所」〒238-0005 横須賀市新港町13番地 ☎046-874-9017へ
（船舶係留・船舶給水は☎046-823-2694へ）

7 利用状況

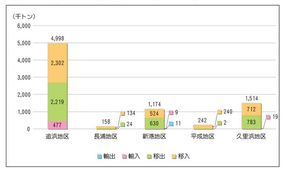
(1) 入港船舶隻数・総トン数推移表(最近5年間)



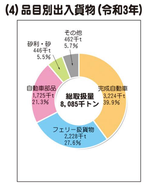
(2) 海上出入貨物推移表(最近5年間)



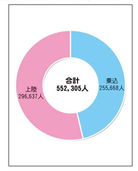
(3) 海上出入貨物量(地区別・令和3年)



(4) 品目別出入貨物(令和3年)



(5) 船舶乗降人員(令和3年)



8 港湾関係官公署・団体及び事業者

(1) 港湾関係官公署

名称	所在	電話番号
東京出入国在留管理局横浜支部	横浜市金沢区鳥浜町10-7	045-769-1720
横浜税関横須賀税関支署	横須賀市田浦港町無番地	046-861-1281
横浜検疫所横須賀・三崎出張所	横浜市中区海岸通1-1 横浜第二海運ビル7階	045-201-4456 海岸通検疫所庁舎
横浜植物防疫所（業務部本船資物担当）	横浜市中区本牧埠頭5-57 横浜第2合同庁舎内	045-211-7152
東京海運上交通センター	〃	045-225-9118
横須賀海上保安部	横須賀市田浦港町無番地	046-861-8366
関東地方整備局東京湾口航路事務所	〃 新港町13	046-828-8366
国土交通省国土技術政策総合研究所	〃 長瀬3-1-1	046-844-5006
国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所	〃 長瀬3-1-1	046-844-5010

(2) 港湾関係諸団体

名称	所在	電話番号
(公財)海上保安協会横須賀支部	横須賀市田浦港町無番地 横須賀海上保安部庁舎内	070-4819-0860
港湾労災防止協会神奈川横須賀支部	横須賀市新港町13	046-826-3363
(一財)横須賀港湾福利厚生協会	〃 新港町13	826-3363
関東海事広報協会横須賀支部	〃 新港町13	826-3363
(一財)海上災害防止センター西日本事務所 横須賀研修所	〃 新港町13	826-3660
横須賀運輸倉庫業協会	〃 新港町13	826-3363
横須賀港運会	〃 新港町13	826-3363
横須賀港運協会	〃 新港町13	826-3363
横須賀港湾物流協同組合	〃 新港町13	826-3363
横須賀市東部漁業協同組合	〃 平成町3-4	822-1052
神奈川県トラック協会横須賀ブロック横須賀三浦区	〃 森崎1-16-11	834-6685

(3) 港湾関係事業者

港湾運送事業法第4条にあたる港湾運送事業者

事業者名	一般港湾運送事業	港湾荷役事業						電話番号
	無限定	限定	無限定	限定	船内荷役 無限定	船内荷役 限定	沿岸荷役 無限定	沿岸荷役 限定	
相模運輸倉庫(株)	○				○		○		046-861-3111
相模船舶代業(株)			○						860-1550
昌栄運輸(株)					○				835-3300
横荷企業(株)							○		861-4886
(株)パンデック		○							855-5998
住重横須賀工業(株)								○	899-1707
山九(株)横浜支店					○		○		045-662-6239
日本通運(株)鶴沢支店							○		045-212-7418 (横浜支店)

港湾労働者福祉センター

名称	所在	電話番号
横須賀新港港湾労働者福祉センター	横須賀市新港町13	046-826-3363

全国有数の冷凍マグロ取扱港湾（新港地区）

専用ふ頭で船積みされる完成自動車（追浜地区）
協力：日産自動車㈱・日器海運㈱

9 主な船舶運航事業者

(1) 定期船運賃

a) 東京湾フェリー(株)　久里浜～浜金谷港

〒239-0831
横須賀市久里浜8－17－20
TEL 046-841-0855
https://www.tokyowanferry.com/
東京湾フェリー「しらはま丸」（久里浜地区）

b) 東京九州フェリー(株)　横須賀～新門司港

〒239-0005
横須賀市新港町11-4
TEL 046-812-9110（旅客・乗用車）
046-812-9112（貨物自動車）
https://tqf.co.jp/
東京九州フェリー「はまゆう」（使用船舶は変更となる場合あり）

c) (株)トライアングル　三笠～猿島・YOKOSUKA軍港めぐり

〒238-0004
横須賀市小川町27-16
TEL 046-825-7144
https://www.triangle-web.com/
「YOKOSUKA軍港めぐり」（本港地区）
「Sea Friend」」提供：㈱トライアングル

d) 東海汽船(株)　東京諸島(伊豆諸島)航路

〒105-6891
東京都港区海岸1-16-1
TEL 03-5472-9999
https://www.tokaikisen.co.jp/
高速ジェット船「セブンアイランド結」（久里浜地区）　提供：東海汽船㈱

(2) 不定期船

※詳細は、各事業者へお問い合わせください。

小笠原海運(株)

〒108-0023
東京都港区芝浦3-7-9
ﾌﾟﾗｰﾑﾌﾟﾚｲｽ田町3階
TEL 03-3451-5171
http://www.ogasawarakaiun.co.jp/
小笠原海運㈱「おがさわら丸」（久里浜地区）

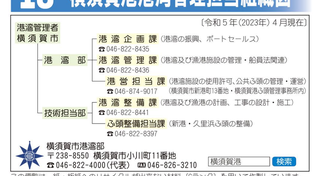
(3) タグボート

東京汽船(株)　横須賀支店
〒238-0004　横須賀市小川町27-17
TEL 046-826-3911
http://www.tokyokisen.co.jp/

(4) 水先人

東京湾水先区水先人会　本部
〒231-0023　横浜市中区山下町1-2
TEL 045-650-3180
http://www.tokyobay-pilot.jp/

10 横須賀港港湾管理担当組織図



横須賀市港湾部
〒238-8550 横須賀市小川町11番地
☎046-822-4000(代表) FAX046-826-3210
横須賀港 検索

この便覧は、紙・電子版ともにUD(ユニバーサルデザイン)フォントを用いて作成しています。
便覧内の情報については、一部表記があるものを除き、発行日時点のものです。
令和5年(2023年)3月15日発行　1,200部

(3) 水域施設

a) 泊地

種別	地区	名称	面積(㎡)	水深(m)
被覆内	長浦地区(第2区)	長浦2号泊地	293,000	-10.0
	本港地区(第1区)	本港1号泊地	217,000	-10.0
	浦賀地区(第6区)	浦賀2号泊地	20,250	-5.5
		浦賀3号泊地	101,550	-8.5
	久里浜地区(第7区)	久里浜2号泊地	40,778	-7.5
		久里浜3号泊地	68,222	-9.0
被覆外	追浜地区(第3区)	夏島泊地	229,100	-12.0
	長浦地区(第2区)	長浦1号泊地	102,900	-5.0
	新港地区(第3・5区)	新港泊地	593,700	-10.0
	浦賀地区(第6区)	浦賀1号泊地	239,130	-6.5
	久里浜地区(第7区)	久里浜1号泊地	476,200	-9.0
		久里浜A錨地8錨地	207,300	-35.0
	第4区(検疫錨地)	港外泊地	6,136,050	-9.0
	計		8,725,180	

b) 船だまり

地区	名称	面積(㎡)	水深(m)
深浦地区(第2区)	深浦船だまり	114,000	-3.0
長浦地区(第2区)	船越船だまり	45,300	-4.4
	田浦船だまり	44,440	-4.4
	長浦久頭船だまり	38,080	-3.0
本港地区(第1区)	吉倉船だまり	38,800	-4.0
	逸見船だまり	104,550	-5.0
平成地区(第5区)	平成船だまり	42,056	-5.0
浦賀地区(第6区)	東浦賀船だまり	32,550	-5.0
	西浦賀1号船だまり	14,950	-2.5
	西浦賀2号船だまり	14,410	-5.0
久里浜地区(第7区)	久里浜北船だまり	20,400	-4.5
	計	509,536	

(4) 荷さばき施設と保管施設

a) 荷さばき地

所在地	経営者	面積(㎡)
浦郷	横須賀市	1,010
深浦	〃	591
長浦	〃	5,989
新港	〃	15,443
平成	〃	30,568
西浦賀	〃	2,919
長瀬	〃	17,822
久里浜	〃	17,153
計		91,495

b) 野積場

所在地	経営者	面積(㎡)
新港	横須賀市	36,130
久里浜	〃	28,349
計		64,479

c) 上屋及び倉庫

種別		名称	所在地	経営者	棟数	総床面積(㎡)	構造 主要用材	構造 階数
上屋	公共	新港上屋	新港ふ頭	横須賀市	1	2,312	鉄骨鉄筋コンクリート	一部2階
	専用			民間	1	280		
倉庫	専用			民間	21	50,311		

b) 物揚場・桟橋・浮桟橋・船揚場（水深－4.5m未満）

施設数と延長 / 施設別		合計 施設数	合計 延長(m)
公共用	物揚場	32	2,396
	桟橋	12	295
	浮桟橋	17	283
	船揚場	13	1,015
	計	74	3,989
専用	物揚場	10	909
	桟橋	14	491
	浮桟橋	31	1,388
	船揚場	7	321
	計	62	3,109
合計		136	7,098

※米軍・防衛省含む、ポートパークを除く

c) 係留浮標（公共用）

地区名	名称	最大係船能力(トン)
長浦	N_{10}	800
	N_{12}	800

※ポートパークを除く

d) ポートパーク

地区名	名称	艇長(m)	係留可能隻数
深浦	深浦ポートパーク浮桟橋	～12	99
	深浦ポートパーク係船浮標	－	20
浦賀	浦賀ポートパーク浮桟橋	～10.5	65

※放置艇対策事業としてポートパークを整備
※お問い合わせは直接 Maris&KMBP共同事業体(深浦:046-865-4532、浦賀:046-844-8955)へ

(5) 係留施設

a) 岸壁、桟橋、浮桟橋（－4.5m以上）

種別	地区	名称	管理者	延長(m)	水深(m)	接岸能力(D/W)	船席
公共	追浜	夏島岸壁	横須賀市	120	-4.5	700	1
	新港	新港1号岸壁	〃	200	-10.0	15,000	1
		新港2号岸壁	〃	200	-10.0	15,000	1
		新港3号岸壁	〃	240	-4.5	700	4
		新港4号岸壁	〃	65	-4.5	700	1
		新港1号桟橋	〃	90	-5.5	2,000	1
		新港2号桟橋	〃	90	-5.5	2,000	1
		新港3号桟橋	〃	130	-7.5	5,000	1
	平成	平成1号岸壁	〃	120	-4.5	700	2
		平成2号岸壁	〃	270	-5.5	2,000	3
	久里浜	久里浜岸壁	〃	220	-6.5	3,000	2
		久里浜1号岸壁	〃	260	-7.5～-8.0	16,000/T	1
		久里浜2号岸壁	〃	80	-5.0	1,000	1
		長瀬岸壁	〃	140	-4.5	700	—
	計			2,225			22
	その他(米軍・防衛省)			6,049			53
専用	追浜	住重横須賀製造所艤装岸壁	住友重機械工業(株)	656	-9.0	300,000 200,000	2
		住重横須賀製造所水切岸壁	〃	60	-6.0	700	1
		海洋研究開発機構桟橋	国立研究開発法人 海洋研究開発機構	220	-8.0	8,687/T	2
		日産1・2号桟橋	日産自動車(株)	435	-12.0	34,000/T	2
		日産3・4号桟橋	〃	260	-7.5～-12.0	15,000	2
		日産5号桟橋	〃	90	-5.5	2,000	1
		日産6号桟橋	〃	185	-10.0	18,000	1
	長浦	海上保安部5号浮桟橋	第三管区海上保安本部	60	-5.0	—	2
	本港	本港1号浮桟橋	(株)トライアングル	38	-4.8	—	2
	浦賀	サニーサイドマリーナ岸壁	湘南ヴニーサイドマリーナ(株)	47	-5.0	1,000	1
		サニーサイドマリーナ中突堤	〃	33	-5.0	700	1
		住重浦賀工場東岸岸壁	住友重機械工業(株)	545	-6.5～-9.0	33,000	3
	久里浜	東電B岸壁	JERA(パワー&燃料)合同会社	100	-5.0	1,000	1
		東電C岸壁	〃	416	-9.0	10,000	2
		東電D岸壁	〃	282	-11.5	10,000	1
		東京湾フェリー(株)1号桟橋	東京湾フェリー(株)	74	-5.5	3,580/T	1
		東京湾フェリー(株)2号桟橋	〃	71	-5.5	3,580/T	1
	計			3,572			26
合計	延長 11,846 m		船席 101 席				

b) 物揚場・桟橋・浮桟橋・船揚場（水深－4.5m未満）

施設数と延長 / 施設別		合計 施設数	合計 延長(m)
公共用	物揚場	32	2,396
	桟橋	12	295
	浮桟橋	17	283
	船揚場	13	1,015
	計	74	3,989
専用	物揚場	10	909
	桟橋	14	491
	浮桟橋	31	1,388
	船揚場	7	321
	計	62	3,109
合計		136	7,098

※米軍・防衛省含む、ポートパークを除く

(6) 駐車場

区分	深浦ポートパーク駐車場	浦賀ポートパーク駐車場	うみかぜ公園駐車場		海辺つり公園駐車場
種別	普通自動車	普通自動車	大型自動車	普通自動車	普通自動車
台数	53	12	2	182	95
指定管理者	Maris&KMBP共同事業体 046-865-4532	Maris&KMBP共同事業体 046-844-8955	よこすかseaside パートナーズ 046-826-2899		よこすかseaside パートナーズ 046-822-4022

(7) 給水施設（公共用）

種類	給水場所	経営者	数量	備考
水栓	長浦1号物揚場	横須賀市	1栓	口径65ミリ
〃	新港1号桟橋	〃	3栓	〃
〃	新港2号桟橋	〃	2栓	〃
〃	新港3号桟橋	〃	3栓	〃
〃	新港1号岸壁	〃	4栓	〃
〃	新港2号岸壁	〃	4栓	〃
〃	新港3号岸壁	〃	2栓	〃
〃	新港4号岸壁	〃	1栓	〃
〃	平成2号岸壁	〃	3栓	〃
〃	浦賀物揚場	〃	2栓	〃
〃	久里浜岸壁	〃	4栓	〃
〃	久里浜1号岸壁	〃	1栓	〃
〃	久里浜2号岸壁	〃	1栓	〃

海辺つり公園（平成地区）

浦賀ポートパーク（浦賀地区）

(8) 港湾環境整備施設（公共用）

海浜 名称	海浜 延長(m)	緑地 名称	緑地 面積(㎡)	その他 名称	その他 面積(㎡)
走水海浜	965	浦郷みなと緑地	2,715	走水観音崎遊歩道	1,740
観音崎海浜	190	新港地区緑地	8,512		
たたら浜	210	うみかぜ公園	52,506		
		平成地区緑地	12,433		
		海辺つり公園	23,148		
		西浦賀みなと緑地	6,298		
		久里浜みなと緑地	2,789		